



虹ヶ丘

https://kawasaki-edu.jp/2/511_nizigaoka/

虹ヶ丘小学校
ホームページ ⇨



虹ヶ丘小 49から50周年へ

校長 井上 恵子

箱根町の仙石原では、ススキが白銀色に光り見ごろを迎えているようです。

石川県能登地方は、記録的豪雨のため、多くの犠牲者が出てしまいました。元日の地震からようやく復興の兆しが見えてきたところで、「まさか」「またか」です。9月になっても30℃を越える気候になったことが影響しているのでしょうか。能登の方々の幸せを祈るばかりです。

10月1日は虹ヶ丘小学校の開校記念日です。本校は1976年（昭和51年）4月に開校しました。49周年になります。開校当時の児童数は129名でした。現在は131名なので同じくらいですね。来年度は50周年記念式典を行います。1年前の今はどのような状況かということ、50周年を盛り上げるためのスローガンをつくっているところです。

スローガン発表は10月11日の前期終業式です。9月26日からの個人面談で、保護者の方にも投票してもらいたいということになり、それまでに、3～5の候補をつくることになりました。

取り組みの第一歩は、夏休み前に、一人一人に、スローガンとそれを考えた理由を書いてもらいました。子どもたちの考えたものを読むと、初めてのスローガンづくりなのでイメージがわからないなか、一生懸命考えたことが伝わってきました。一人一人が考えることが大事だと思いました。

次は夏休み明け。計画委員会と代表委員の子どもたち、教職員が、校長室でスローガンとそこにこめた思いをひたすら読みました。そして、いいなと思ったものに「どの言葉が、どのようによかったか」を書いて付箋を貼っていきました。

さらに次のステップは、付箋を読み、「なるほど」「たしかにこのスローガンいいね」とおすすめしたいものを発表し合いました。ホワイトボードに計画委員の記録係が書き出していきました。それをみんなで見合います。

仕上げは、ホワイトボードに書かれた言葉やフレーズを生かして候補スローガンをつくることです。このように、何度も読み返しながらか、「虹にはいろいろな意味が含まれているのではないかな」「こうしたほうがいいよ」「何かが足りないな。どんな思いをもって進んでいくの?」「これを加えたら長くなりそうだ」などと協議をしました。このように、作り上げる過程に価値があると考えています。言葉の吟味をすることで言葉の力もつきます。声に出してみると、言葉のリズムを感じます。書いてみると、ひらがなが多くて優しい感じがしたり、漢字の効果で力強さが出てきたりしました。

子どもたちは、保護者の方々に投票してもらうために、個人面談開始時刻ギリギリまで粘って準備をしていました。みなさんはどのスローガンを選びますか。どれもよいスローガンですから、一つを選ぶとなると悩むのではないかと思います。決まりましたらご報告いたします。



- 1 届けよう いっぱいの大ききと ありがとう
- 2 しあわせいっぱい ありがとういっぱい にこっと笑って レッツGO!
- 3 虹のしあわせ ずっと続くよ どこまでも
- 4 手をとりあい 進化を続け 未来へGO!
- 5 進もう! 一人一人の心をつなぐ 虹の道を

5年生の子どもたちは、10月5日、王禅寺ふるさと公園で行われる地域イベント「Vege&Art Fes（ベジフェス）」で、学習の成果を発表します。ぜひ、子どもたちの姿を見に来てください。